国語

慣用句

なまえ

いみに 合うように、□に 体の 一部を あらわす かん字を 書きましょう。

やりかた



慣用句は ことばどおりの
いみじゃ ないから
ふしぎだよね。
体の 動きを 思いうかべると、
いみと むすびつきやすいよ。

頭 を ひやす → いみ：おちついて よく 考える

① いみを 読む
② 体の どこを つかう ことばか 考える
③ その 体の 動きを 思いうかべる

体の 一部を あらわす かん字（つかわない ものも あります）

首　顔　口　耳　鼻　目　手　足

① □が 広い　　いみ：知り合いが 多い。

② □が かたい　　いみ：ひみつを 人に 話さない。

③ □を かす　　いみ：こまって いる 人を たすける。

④ □が いたい　　いみ：弱い ところを 言われて つらい。

⑤ □が ない　　いみ：それが とても すきだ。

⑥ □が 高い　　いみ：じまんに 思って とくいに なる。

⑦ □を 長く する　　いみ：今か 今かと 楽しみに 待つ。



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。

国語

慣用句

こたえ

いみに 合うように、□に 体の 一部を あらわす かん字を 書きましょう。

ここに 気を つけよう



よく 見ると、「手を かす」の 手は、ほんとうに 手を わたす わけでは ないよ。
体の 動きから いみを 思いうかべて みよう。
1つずつ たしかめた 時間が、ちゃんと 力に なって いるよ。

体の 一部を あらわす かん字（つかわない ものも あります）

首　顔　口　耳　鼻　目　手　足

① 顔 が 広い　　いみ：知り合いが 多い。

② 口 が かたい　　いみ：ひみつを 人に 話さない。

③ 手 を かす　　いみ：こまって いる 人を たすける。

④ 耳 が いたい　　いみ：弱い ところを 言われて つらい。

⑤ 目 が ない　　いみ：それが とても すきだ。

⑥ 鼻 が 高い　　いみ：じまんに 思って とくいに なる。

⑦ 首 を 長く する　　いみ：今か 今かと 楽しみに 待つ。

このプリントで育つ力：体の一部を使った慣用句と、その意味を結びつける力



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。